

## 創傷治癒を補助する細胞療法

近年、ES細胞、iPS細胞や間葉系幹細胞などに代表される多能性幹細胞を用いた再生医療が我が国において急速に発展し、これまでは治療不可能な難治性疾患に対しても一部臨床応用段階にある。創傷治癒においても、これらの再生医療は治癒のプロセスを変化させ、傷を瘢痕のない状態にするための重要なツールになると考えられる。本セッションでは、近未来の創傷治癒学を見据えた再生医療について、先鋭的な基礎研究、トランスレーショナルな応用研究、臨床研究など最前線の成果を提示していただき、再生医療の現状と課題さらに今後の展望を明確化することによって創傷治癒学のパラダイムシフトを大いに議論していただきたい。